



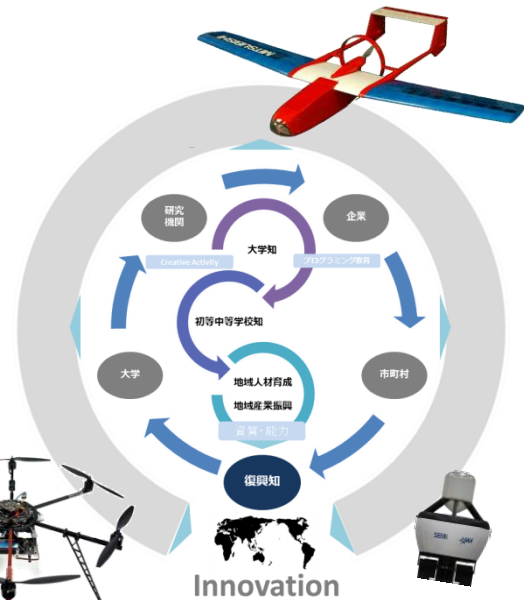
ドローン産業振興及び人材育成プロジェクト



東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻
教授 土屋武司

事業のポイント

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻が有する「ドローン」(無人航空機)に関する「知」を、「復興知」の一部として、南相馬市に誘導・集積する。
東京大学の学生を率いて小中学校、高等学校の児童・生徒に対するドローンを用いた工学教育を教育活動として行う。
また、ドローンの研究開発を「福島ロボットテストフィールド」で行い、同時に現地企業の産業振興に寄与する。



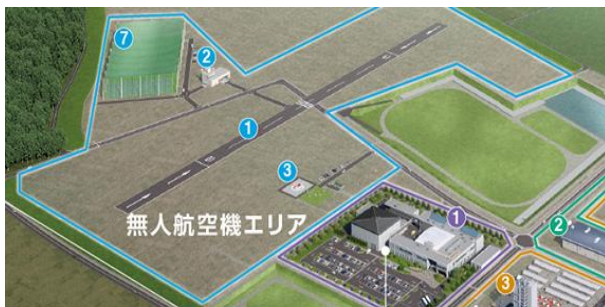
活動内容

- ① 東大生が企画したドローンを活用したプロジェクト型(課題解決型)工学教育を、南相馬市の小中学校で、展開する。

7月に南相馬市立
鹿島中学校
石神第二小学校
原町第二中学校
原町第一小学校 で実施。



- ② 「福島ロボットテストフィールド」を活用して、小型無人航空機(ドローン)の最先端飛行実験を実施しつつ、航空工学の人材育成と産業振興をはかる。



欧州共同研究 HORIZON2020
NEDO「航空機用先進システム実用化プロジェクト・次世代自動飛行システム研究開発」(7月31日実施)

期待される最終成果

ドローンを用いた工学教育のメソッドを福島から全国に展開する。
最先端のドローン研究、航空工学研究を福島から世界に発信し、新たなドローン、航空産業の拠点誕生を目指す。